

授業科目名	国際防災論	担当教員	塩川 太郎
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2年 第1クォーター		
講義内容	日本は地震や台風などの自然災害が多い地域であるが、世界では様々な災害が起こっている。近年、想定外と言われる災害が多発しているが、その多くは災害への認識不足に起因している。世界各地で起こる災害と防災について理解することは、これから起こる災害への備えとなるだろう。本講義では、世界の自然災害及び防災事情を学び、日本が世界に貢献できる防災・減災の取り組みを考える。		
到達目標	世界の自然災害と防災の取り組みについて理解し、日本が今後行うべき防災・減災のあり方について考えることができる。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「授業紹介」 授業に関するガイダンス、自然災害とは</li> <li>2. 「日本の災害と防災」 日本の災害史と防災事情について</li> <li>3. 「アジアの災害と防災 1」 台湾の地震と防災事情</li> <li>4. 「アジアの災害と防災 2」 スマトラ島沖地震と津波被害</li> <li>5. 「北米の災害と防災 1」 ハリケーン被害と防災について</li> <li>6. 「北米の災害と防災 2」 アメリカ・カナダの寒波・雪害について</li> <li>7. 「中南米の災害と防災」 中南米の地震・火山噴火と防災について</li> <li>8. 「ヨーロッパの災害と防災」 セーヌ川の洪水と防災について</li> <li>9. 「オセアニアの災害と防災」 オーストラリアの森林火災と防災について</li> <li>10. 「アフリカの災害と防災」 アフリカの干ばつと支援について</li> <li>11. 「災害文化と防災」 過去の災害を伝える災害文化と防災について</li> <li>12. 「課題発表」 グループ発表（日本が世界に貢献できる防災・減災の取り組みについて）</li> </ol>		
事前・事後学習	事前：授業テーマに関連したキーワードについて事前に調べておくこと。 事後：授業で学んだ内容について復習しておくこと。		
テキスト	なし 各回の授業において資料を配付する		
参考文献	適宜紹介する		
成績評価の基準	出席及び受講態度（授業中の議論への貢献等）（60%）と課題発表（グループ発表）（40%）にて評価		
履修上の注意 履修要件	なし		
実践的教育	該当しない。		
備考欄	定員が上限を超えた場合は選考を行う。		